

各位

2026年3月4日
コンピューターマネジメント株式会社

Solace Corporation とのパートナー契約締結のお知らせ

～リアルタイム連携で「早く」「ムダなく」成果につながる～

パートナー契約締結のお知らせ



Solace Platform でリアルタイム連携を実現

<https://plus.cmknet.co.jp/solace-platform-menu/>

コンピューターマネジメント株式会社（本社：大阪市北区 代表取締役社長：竹中英之、以下 コンピューターマネジメント）は、Solace Corporation（本社：カナダ オンタリオ州 オタワ President & CEO：Denis King、以下 Solace）と、このたびパートナー契約を締結しましたことを発表いたします。

■パートナー契約締結の背景と目的

DX 活用が当たり前となった今、今後の企業競争力は AI によるデータ活用で左右される時代に入りつつあります。

AI が最大限に力を発揮するためには、現場で今起きている状況を「正しいデータとしてリアルタイムに連携する基盤」が欠かせません。さらに、オンプレミス／クラウド／ハイブリッド環境にも柔軟に対応する必要があります。

こうした従来のデータ連携基盤では実現が難しかった要件に対応するため、コンピューターマネージメントは Solace とのパートナーシップを締結いたしました。

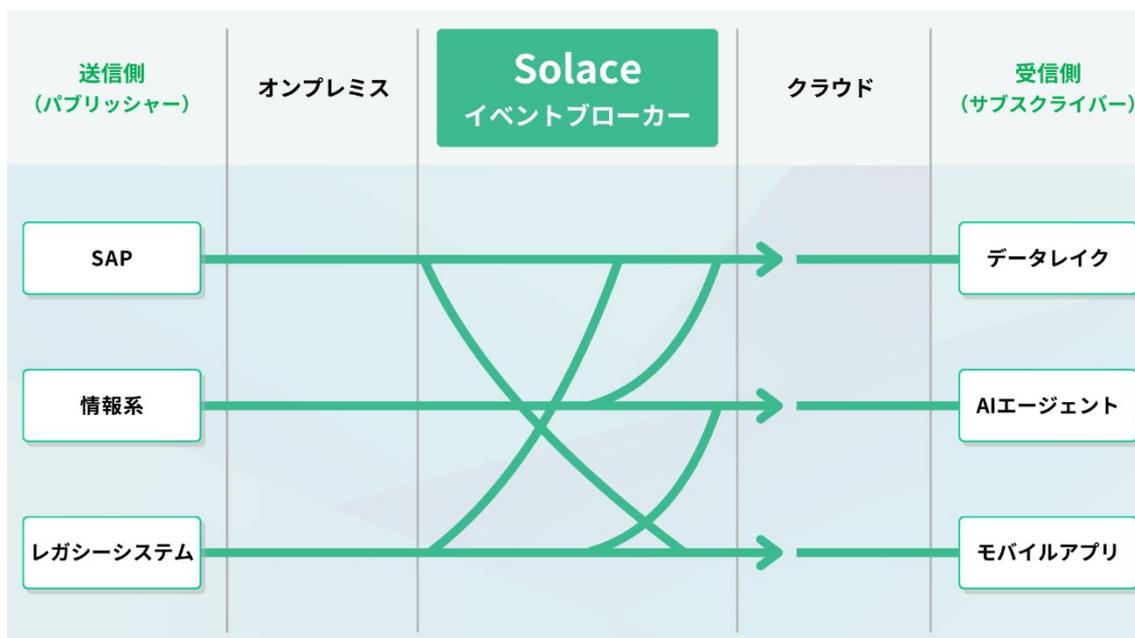
Solace の「Solace Platform」を活用することで、これまではバッチ転送のため反映ができず、即時処理ができなかった業務をリアルタイムで対応できるようになります。

Solace Platform のリアルタイム連携を通じて「時間」「手間」「ムダ」の 3 大ロスと同時に解決し、お客様のビジネススピードの飛躍・向上に貢献してまいります。

■パートナー契約の内容

Solace は Solace Platform をはじめとした製品および最新技術情報の提供を行い、コンピューターマネージメントは日本市場での販売およびお客様への導入支援・運用を担います。

■Solace Platform について



Solace Platform は、Solace が開発した「イベントドリブン（駆動型）プラットフォーム」です。高機能なイベントブローカーの搭載によって、企業全体でリアルタイムなデータ連携を実現します。

また、ハイブリッド・マルチクラウド・オンプレミス・IoT など、多様な環境に点在するシステムをイベントメッシュでつなぎ、距離や環境に左右されずに重要なメッセージを「送達保証」で確実に届けます。

こうしたイベントドリブンアーキテクチャにより、従来のデータ連携手法が抱えてきたリアルタイム性の不足や情報の反映遅れなどといった根本的な課題を解決します。

詳細情報は、<https://solace.com/jp/products/platform/>をご覧ください。

■お客様への提供価値

コンピューターマネージメントは、設立から40年分のITノウハウとSolaceからの最新情報を組み合わせ、当社エンジニアによる「安心・安全・安定」した3つの独自サポートを提供いたします。

- (1) Solace Platform ライセンス選定
- (2) 導入・開発・設定支援
- (3) システム運用・保守

Solace のパートナーとして、コンピューターマネージメントが製品導入～運用保守までを包括的にサポートいたします。運用開始に至るまでの生産性向上および、導入後の運用最適化に貢献してまいります。

■Solace 日本代表 小原洋氏からのコメント

このたび、リアルタイムデータ&エージェント型AIプラットフォーム『Solace Platform』の展開において、コンピューターマネージメント様とパートナーシップを結ぶことを大変嬉しく思います。Solace Platform はリアルタイム連携を通じて“スピードと成果”を両立し、従来のバッチ中心のデータ連携が抱えていた課題を解消する基盤として、多くのお客様から高く評価いただいています。

また、今後大きな市場成長が見込まれるエージェント型AIの分野においても、リアルタイムにイベントを取得・判断し、自律的にアクションを起こすためのデータ基盤はますます重要になります。Solace が提供するプラットフォームは、これらAIエージェントの高度化と実用化を支える中核技術となり得ると考えています。

長年にわたり幅広い業界でデータ・API連携の実績を積み重ねてこられたコンピューターマネージメント様は、Solace にとって非常に有望なパートナーです。今回の協業により、リアルタイムデータ活用とAI技術の融合が加速し、日本市場のさらなる拡大につながると確信しております。

■コンピューターマネージメント 代表取締役社長 竹中英之からのコメント

Solace 様とパートナーとして歩み出せることを、大変喜ばしく思います。

コンピューターマネージメントが長年培ってきた「開発力・運用力」と、リアルタイム連携ソリューションのグローバルリーダーである Solace 様の「Solace Platform」を掛け合わせることで、日本のお客様に高品質なリアルタイム連携基盤をご提供できると確信しています。

企業における AI 活用が重要となるこれからの時代、Solace 様とのパートナーシップを通じて多様な業界におけるリアルタイムデータの活用を推進し、日本市場に新たな成長機会を切り拓いてまいります。

コンピューターマネージメントは、お客様のビジネスに直結する課題の解決と目標達成に向けて伴走することをお約束するとともに、Solace 様とのパートナーシップを通じて両社の持続的な成長・繁栄をともに実現してまいります。

■コンピューターマネージメント株式会社について

独立系システム開発会社として 1981 年 11 月 26 日に設立され、大手企業を中心に、金融業界をはじめ、メーカー、サービス事業者等、多彩な分野に高度なシステム及びソリューションサービスを展開しています。

顧客の経営に直結するシステム課題や業務課題に対し、蓄積した開発ノウハウにて、それぞれのビジネスモデルに応じたソリューションをワンストップでご提案。グループで約 730 名の従業員を有し、年間連結 79 億円の売上を上げています。

詳細情報は、<https://www.cmknet.co.jp/>をご覧ください。

■Solace Corporation について

Solace は、イベントドリブン技術を通じて組織のリアルタイムなビジネス運用を支援する企業です。

リアルタイムデータとエージェント型 AI プラットフォームを備えた Solace は、レガシー、クラウド、AI システムを横断し、AI エージェント、アプリケーション、データを統合するスケーラブルなイベントドリブン基盤を提供しています。

世界中の大手企業から信頼され、即時性が求められるインテリジェントな体験の提供、アプリケーションや統合環境のモダナイズ、顧客・パートナー・従業員に向けたシームレスなデジタル体験の実現を支援しています。

詳細は <https://solace.com/jp/> をご覧ください。

<お問い合わせ先>

コンピュータマネージメント株式会社
大阪府大阪市北区梅田一丁目 13 番 1 号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 19 階

広報担当：津田
E-mail：pr-cmk@cmknet.co.jp